

銀賞

水のゆくえ

平島 由佳子

粕屋町立仲原小学校

わたしは、学校で多々良川じようかセンターの人の出前じゆ業を聞きました。じゆ業ではいままで知らなかった水のゆくえが分かりました。初めて知ったことは、三つあります。

一つ目は、水のゆくえです。使われた水は下水管を通って下水しよ理場という所に流れていきます。下水しよ理場ではゴミをとりのぞき、魚が住める水まできれいにしよ、海や川に流すそうです。魚が住める水まできれいにしよ、と、思いました。

二つ目は、水はどのようにきれいになるかです。まず、ちんさ池で大きなゴミや土しよをとりのぞきます。次に、最初ちんさ池で水をゆるやかに流して小さなゴミやどろをしよめず。次に反のうタンクでよごれた水にび生物の入った活せいおでいをまぜて空気をふきこんでよごれをしよみやすくしよ。次に最終ちんさ池でしよみやすくなつた有機物をしよめて、しよ理した水と、おでいにわけます。そして最後に消どくをしよ、川や海に流すそうです。わたしは、反のうタンクでび生物がよごれをしよみやすくしよ、と、思いました。

三つ目は、下水道に流してはいけな物です。下水道には台所のゴミ、油、薬、牛にゆうなどを流してはいけません。もし下水道に牛にゆうコップ1ぱい分を流すと魚が住める水にするために、なんとおふる20ぱい分の水が必要だそうです。ほかに、スプーン1ぱい分の

油だと、おふる7はい分の水が必要だそうです。わたしは、このことを聞いて、こんなに必要なんだと思つてこれからは、下水道にゴミを流さないように気をつけようと思ひました。そして、水をせつ水して使おうと思ひました。

わたしは、もつと下水道の事を知りたかつたので下水道センターへ行きました。そこには、きれいな水をトイレに使つたさい生水や、はたらくび生物の種類、下水道と下水しよ理場がなくなつたらどうなるかを知れました。

わたしは、出前じゆ業や下水道センターでたぐさんの下水道の事や、水をせつ水して使おうという、気をつけようと思つた事がたぐさんありました。出前じゆ業は下水道の事で、とてもためになりまひた。そして、とてもおもしろかつたです。